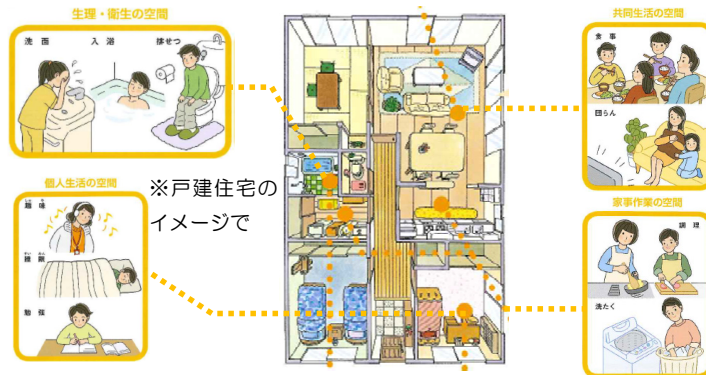


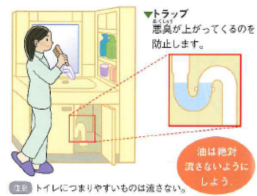
② 家族の生活と住まいのかかわり

☆ねらい 家族がどのような生活を重視するのかにより、住空間の使い方が異なることを理解する。また、家族が共に暮らすためには、住生活に対する思いや願いを互いに尊重しながら調整して住空間を整える必要があることを理解する。

○ より良い住まいにするために、自分でできることを考え、家族と相談して実行しよう。



○ 集まって住むためのルールを考えよう。(関連事項：p.10)



自転車の置き方・駐車のルール

駅前やマンションの入り口などに自転車を止めることで、歩行者の通行の邪魔になることがあります。



駐車違反の車があると、ごみ収集車や消防車が通れないことがあります。

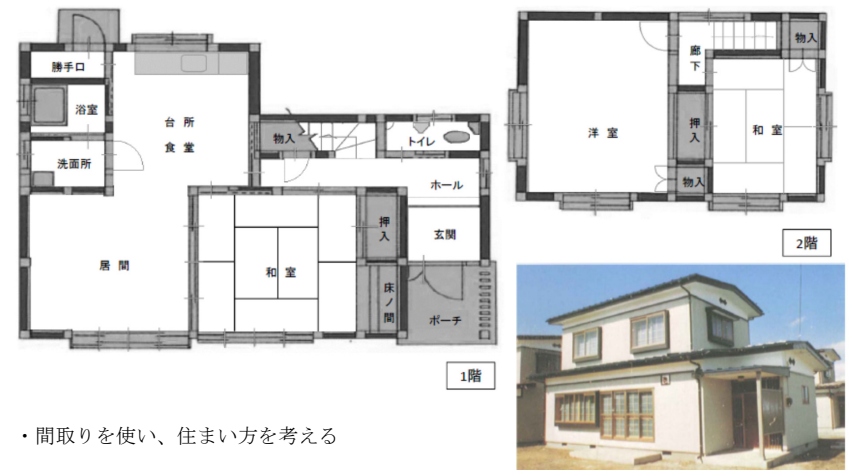


- ・騒音
- ・給排水
- ・その他

【ワークシート】

○ 住まいの空間の使い方を考えよう。

- ・将来の家族構成を考える  
(例：父、母、自分・・・)



・間取りを使い、住まい方を考える

・使い方（室名）を書き込む

・このようにした理由や工夫した点をまとめる

③ 快適で安全な住まい

☆ねらい 家族が安心して快適に住まうためには、住空間を安全な状態に整える必要があることを学び、家庭内の事故を防ぎ、自然災害に備えるための住空間の整え方について理解する。

○ 快適な住まいの条件について考えよう。



・ 快適な住まいの条件を整理



・ 家にすき間があると、どう感じるか

・ 隙間がなくても冷気流が生まれる (ダウンドラフト)

【ワークシート】

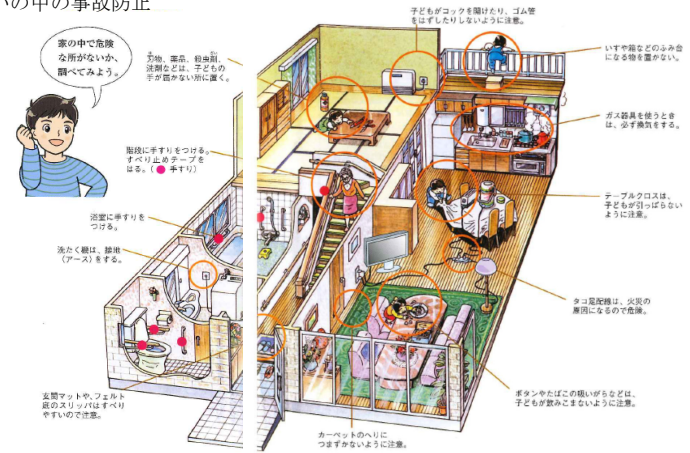
○ 家庭内の事故を防ごう。

・ 家庭内事故死の主な原因

青森県 総数 430	0 歳	1~4 歳	5~9 歳	10~14 歳	15~29 歳	30~44 歳	45~64 歳	65~79 歳	80~ 歳
転倒・転落	22.2	13.6	27.3	—	36.4	11.1	80.0	11.1	21.0
溺死	28.3	4.5	0.0	—	0.0	55.6	0.0	11.1	21.0
窒息	27.2	81.8	54.5	—	0.0	33.3	0.0	0.0	24.9
その他	22.2	0.0	18.2	—	63.6	0.0	20.0	77.8	33.1

(厚生労働省「平成27年人口動態統計」2015)より作成

・ 住まいの中の事故防止



・ 転倒、転落の防止

・ ガスの安全 (不完全燃焼に注意)

・ 高齢者、幼児の安全上、住宅の平面図に注意すべきポイントを書き込む





### §3 住居と家族の生活

#### ① ライフステージに応じた住居の選択

☆ 物件探しを通して平面図を読み取り、自分の生活を描く。

○これから役立つ！住んでみたい物件（賃貸）の条件を考えよう。

【就職して社会人や学生になり一人暮らしをする場合、どの物件を選びますか】

【イメージ図 賃貸物件の例を提示】



【イメージ図 賃貸物件の位置が把握できる地図を提示】

（できればスーパーや薬局、コンビニ、官公庁、公共交通機関等が見えるもの）

#### ●個人の住要求 個人

物件を選ぶ条件は何か考えてみよう。優先順に書いてみよう。

条件 1	・理由
条件 2	・理由
条件 3	・理由

◇条件が決まったら友達と共有してみよう。 グループ

自分と違ったり同じだったりとしたところはあったか  
グループで話し合い、これは欠かせないという条件を出し、他のグループと比較しよう。

欠かせない条件はこれだ！

●図の中から、自分たちの条件に合った物件を選んでみよう。 グループ

私たちが選んだ物件は ..... 番の物件です。  
なぜなら、..... だからです。



●不動産業の社員だったら、どのように物件を紹介するか。  
不動産業の人になりきって、隣のグループに紹介してみよう。

グループ&グループ

どんな質問やアドバイスがあるか、消費者のニーズを体験してみよう。

他者からの質問やアドバイス

ゲストティチャー  
物件選びで失敗しないよう、物件のブ  
ロから、物件情報の読み取りに役立つ  
内容についてアドバイスをください。

●生活の場としての住居の条件について、気付いたことは何か、今後の生活にどのように生かしたいか 個人

気付いたこと

今後の生活に生かしたいこと







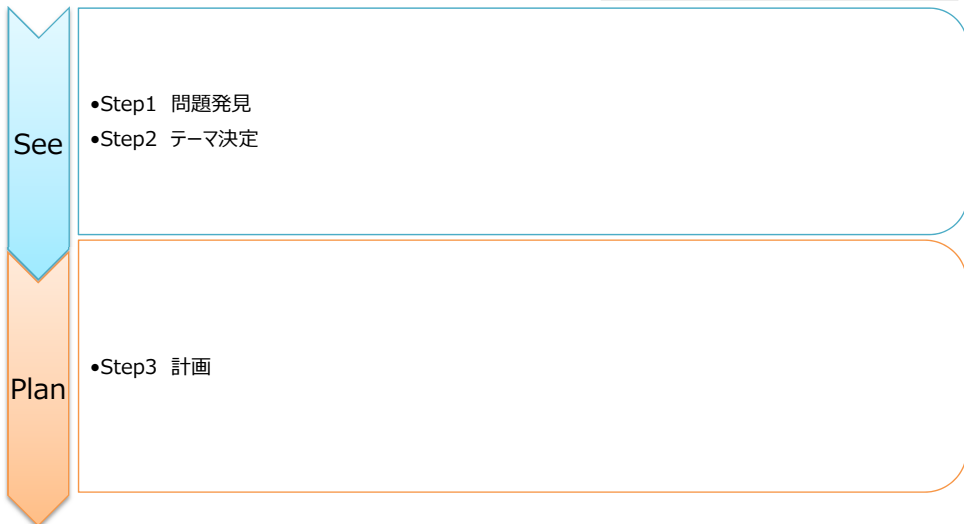
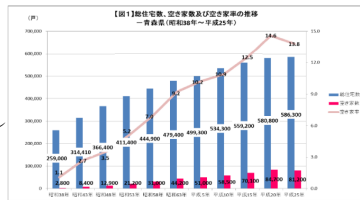
§ 4 私たちがつくる地域社会とのかかわり

① 共生の視点から見いだす地域の課題

(リビングリテラシー～青森県住生活リーフレット～使用)

☆ねらい 地域の生活を俯瞰し、高校生の視点で見える課題を整理し改善できることがあることに気付く。

●これまで学んできたことを活かして地域をみつめよう。



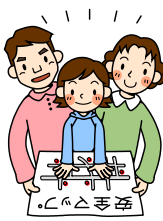
地域の生活の見つめ方：共生、住まい、防犯、防災、冬、雪、ライフステージ、空き家…など視点を絞る

Step1,2 地域の課題を洗いだし、解決するテーマを決めよう

- ①付箋紙に日頃課題だと思っていたことを書いてみよう
- ②書いた課題をグループ内で紹介し合い、グループで解決したい課題をまとめてみよう
- ③他のグループに紹介しよう
- ④同じような課題をあげているグループがあったら、合同チームになろう

Step3 計画を立ててみよう

- ①一人のできるこ
- ②グループのできるこ
- ③どのような方法で情報収集するのか(調査・研究)
- ④解決方法は、どれくらい見つかり、どの方法を選んだか(改善内容)



ゲストティチャー  
地域コミュニティなど人々の暮らし方について研究をしている大学の先生からお話を聞いたり、計画についてアドバイスをもらったりしよう

②地域の課題の解決策

☆ねらい 地域の課題を解決するための計画を立て、実践し、その結果を考察することで、自らが地域コミュニティを形成していく存在であることを認識する。



Step4 研究し、実践してみよう

- ①実施内容と結果を記録しよう

Step5 評価してみよう

- ①結果を考察してみよう(効果があったこと、課題となったこと、改善が必要なこと)
- ②自己評価してみよう
- ③家族や地域の方、友人のコメントをもらおう
- ④全体を振り返り今後の課題を考えよう

Step6 共有したり、まとめた内容を発信したりしよう

- ①自分の内容を分かりやすく説明しよう
- ②友人の内容を聞き、自分の生活に役立つヒントを見つけよう



実践して、気付いたこと、今後の生活に生かしたいこと